



北海道日高高等学校

〒055-1307 北海道沙流郡
日高町松風町一丁目一六番地の二
<http://www.hokkaido-hidaka-hs.jp/>



令和三年度を振り返って

北海道日高高等学校長 谷 尊 仁

今年度も当初から新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めたこと、学校の安全確保、生徒の学びの機会を最大限に確保し、卒業生が活躍できる社会を創出することを目指して、令和三年度を振り返ります。

令和三年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めたこと、学校の安全確保、生徒の学びの機会を最大限に確保し、卒業生が活躍できる社会を創出することを目指して、令和三年度を振り返ります。

多くの感動と希望を与えてくれたこと、努力することの大切さや、国境を問わない友情、フェアプレー精神など今の時代だからこそ大切にしなればならないものを感じられたいと思います。

今後、新しい生活様式を継続することなど、コロナを見据えた社会構造や価値観などが大きく変化すること、対峙していくことが強求められていくことが、変化しようとしても、時代を超えて、不易なもの、価値のあるもの、他人を思いやる心、正義感や公正さを重んじる心、愛する心など、「人間」として在るべき方に関わるもの、新型コロナウイルスの感染拡大防止を勧め、大切さを意識していただきました。

令和四年度もまだまだ例年通り教育活動と生徒が自らが一人ひとりの成長を促す、力を合わせて頑張る、仲間、協力、学校への感謝を代表して心より感謝を申し上げます。



第69回卒業式の様子



卒業を迎えて

三年担任 清谷 凌



三年前、これから始まる新生活への期待を持ちながら、しっかりと生活できるかなという不安を抱えた六名の生徒が入学し、教員生活二年目だった私も「初めての担任！」という期待と「ちゃんと担任を務めあげることができかな」という不安まさに六名と同じような気持ちで対面しました。

右も左もわからない担任業務。でも副担任の時とは違った目線で生徒達をみる事ができたりもして、毎日が新鮮で大切な日々となりました。

まったり、新型コロナウイルスの影響で楽しみにしていた行事が中止、縮小してしまったり、学校生活の中で辛く苦しい日々もありましたが、それと同時にかけがえのない思い出もたくさんできたと思います。少々の役割をまっとうできたのかなと思うことができました。

この三年間、学年通信や授業の合間にくだらないことや馬鹿馬鹿しいことばかり話して



卒業おめでとうございます！

で、先生らしく人生の道標になれなかったことだけが心残りですが、それでも最後まで生徒達の成長を見守り育てて下さった保護者の皆様には感謝してもしきれません。微力ながら共にお子様の成長を見守ることができ誠に光栄でした。卒業式の日、あの子達の晴れ姿は、私にとっても大切な、忘れることのない思い出として心に刻まれました。

結びに、この日高高等学校での思い出が卒業生にとつて輝かしいものであり続ければ良いなと心から願っております。保護者の皆様、三年間大変お世話になりました。お子様の更なる成長とご活躍を期待し、卒業後も微力ながら応援させていただき所存です。

お前ら、なんとかして不老不死になつて高潔無比に天下無双してこい！！！！

離任の「お礼」

離任挨拶（お礼）



校長 谷 尊仁

この度、令和四年度の人事異動内示を受け、北海道美瑛高等学校に異動することとなりました。令和二年度に赴任してから二年間の勤務でした。思い起こすとこの二年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止に追われ、校長として生徒や地域のためにどれだけ力を尽くせたか疑問の残るところであります。産業学習において武田教育長、関本課長、学校運営協議会（CS）の山田会長をはじめ委員の方々、同窓会の下村会長、教育振興会の本間会長、保護者や地域の方々には言葉では表せないほどお世話になりました。心から感謝申し上げます。

これからの日高高校と生徒や地域関係者の皆様のおますますご盛栄を祈念しております。

私も次の新天地で全力を尽くして頑張ります。

年間、大変お世話になりました。

離任の「お礼」



教諭 高橋 健一

この度、令和四年度人事異動により、私の母校である旭川東高校へ異動することとなりました。平成二十九年、日高高校に着任し単身赴任生活もはや五年。素敵な生徒たちや、素晴らしい教職員・町民・保護者の方々、そして何よりも「日高の大自然」に囲まれての五年間は、私の人生における『宝物』となりました。本当にお世話になりました。

専門である「スキー」のご縁で日高高校のお話をいただいた訳ですが、全校生徒のスキー上達の足跡、スキー部における夏の合宿や大会引率（二年連続でインターハイ出場）等の思い出・部員の成長の足跡も『宝物』です。そして何よ

りも、二度の卒業担任で送り出した生徒たちの成長の足跡：、まさに教師冥利に尽きる体験でした。自宅のある旭川を離れ、思い切つて日高に飛び込んで、心から良かったと断言できません。

末筆になります。日高高校のますますの発展を祈念し、離任のご挨拶とさせていただきます。五年間、ありがとうございました。

生徒の皆さんへ：「思いやり」『愛』を忘れずに！君たちと出逢えて良かった！

未来ある先生方へ：生徒への『愛』を胸に、北海道の教育とともに盛り上げましょう！

離任挨拶

教諭 坂本 佳子



令和四年度人事異動により北海道夕張高等学校へ異動することになりました。六年前新採用でこの日高高校に着任し、あつという間の

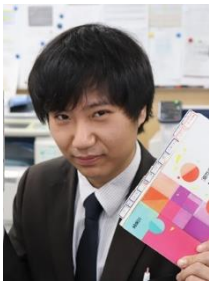
います。初めての夜間定時制高校での勤務で、緊張していましたが毎日楽しく、学ぶことがたくさんあった六年間でした。

全国から集まった生徒たちとの関わりは、一日一日が新鮮で「明日は何が起こるんだ！？」と刺激的な毎日。三年間で大きく成長していく姿を間近見ることができ、生徒から学び、助けられることもあり、一緒に成長できたのではないかと思います。また、たくさんの人に支えていただいた六年間でした。校長先生をはじめ日高高校の先生方、保護者の方々、日高町の方々に支えていただき、三年間の担任業務や教育活動を行うことができました。誠に感謝しております。

異動先でも日高高校で学んだことを生かし、教育活動に取り組んでいきたいと思っております。六年間ありがとうございました。

「お礼」

教諭 清谷 凌



日高高校で新採用として赴任してから四年間、生徒

との関わりや地域との関わりを通して様々な事を学びました。先輩教員から「初任者は田舎に行くことが多いよ」と聞かされておりました。札幌出身のシテイボーイだった私は「MAONは届くのかな」とか「セブンは無事セブておりましたか」とか心配して「おれんはありませんでした。地図に書いてあつたらーめん屋もいざ見ると雪に埋もれた廃墟と化して思いました。同僚の先生方や地域の皆様が世間知らずで生意気な私を温かく支えて下さいました。皆様とセブイコマートには本当に感謝しております。

日々生徒達と共に学びながら、日高高校でしかできない経験や体験を経たからこそ今の私があると思っております。ここで培ったことを最大限に生かし、4月から異動するニセコ高校でも全力で職務を全うします（できただけ）。4年間ありがとうございました。最後に生徒達へ：「本当に！いなくなると！じゃあな！」



<令和3年度 進路実績>

【進学】私立大学	北海道科学大学	1名	【就職】独立行政法人北海道立総合研究機構	1名
専門学校	関東柔道整復専門学校	1名	未定	1名
	佐伯栄養専門学校	1名		
未定		1名		

（令和4年3月22日現在）